

(訂正版)

2003年3月期  
決算説明資料

2003年5月13日  
信越化学工業株式会社

# 目

# 次

## ( 連結決算 )

・業績の概要 ( 連結・単独 )	1 頁
・決算の主要項目 ( 連結・単独 )	2 頁
・セグメント別売上高・営業利益	3 頁
・有機・無機化学品事業の推移・現況	4 頁
・電子材料事業の推移・現況	5 頁
・機能材料その他事業の推移・現況	6 頁
・シンテック社の業績概要	7 頁
・信越半導体グループの業績概要	8 頁
・比較損益計算書	9 頁
・比較貸借対照表	10 頁
・キャッシュフロー計算書	11 頁
・キャッシュフロー・設備投資額の推移	12 頁
・2004年3月期業績予想 ( 連結・単独 )	13 頁

## ( 単独決算 )

・比較損益計算書	14 頁
・比較貸借対照表	15 頁
・部門別売上高比較	16 頁

## 業績の概要（連結・単独）

	連 結			単 独			連単倍率	
	2002年 3月期	2003年 3月期	増 減	2002年 3月期	2003年 3月期	増 減	2002年 3月期	2003年 3月期
売上高	7,751	7,975	( 2.9%) 224	4,653	4,802	( 3.2%) 149	1.67	1.66
営業利益	1,147	1,221	( 6.5%) 74	646	620	( 4.0%) 26	1.78	1.97
経常利益	1,170	1,221	( 4.3%) 51	670	620	( 7.5%) 50	1.75	1.97
当期純利益	685	730	( 6.6%) 45	399	370	( 7.2%) 29	1.72	1.97
総資産	12,884	13,109	225	6,599	6,794	195	1.95	1.93
株主資本	8,121	8,470	349	4,782	5,029	247	1.70	1.68
株主資本比率	63.0%	64.6%	1.6 <sup>°</sup> ｲﾄ	72.5%	74.0%	1.5 <sup>°</sup> ｲﾄ		
1株当たり								
当期純利益	162.93円	173.13円	10.20円	94.85円	87.83円	7.02円		
株主資本	1,930円	2,014円	84円	1,137円	1,196円	59円		
年間配当金	/	/	/	12.0円	14.0円	2円増配		
R O E	9.0%	8.8%	0.2 <sup>°</sup> ｲﾄ	8.5%	7.5%	1.0 <sup>°</sup> ｲﾄ		
R O A	9.2%	9.4%	0.2 <sup>°</sup> ｲﾄ	10.0%	9.3%	0.7 <sup>°</sup> ｲﾄ		

（注）ROAは総資本経常利益率。

## 決算の主要項目（連結・単独）

（億円）

	連 結		単 独	
	2002年 3月期	2003年 3月期	2002年 3月期	2003年 3月期
設 備 投 資 額	815	752	362	120
減 価 償 却 額	709	666	288	232
有 利 子 負 債 残 高	1,775	1,674	513	584
金 融 収 支（ 益 ）	2	8	33	29
研 究 費	282	273	166	156
期 末 従 業 員 数	16,456人	16,573人	2,755人	2,672人
為替レート：1-12月平均	121.5円	125.4円	-	-
（US\$）4-3月平均	125.1円	120.0円	125.1円	120.0円

（注）1．2003年3月期（連結）設備投資額、減価償却費の内訳

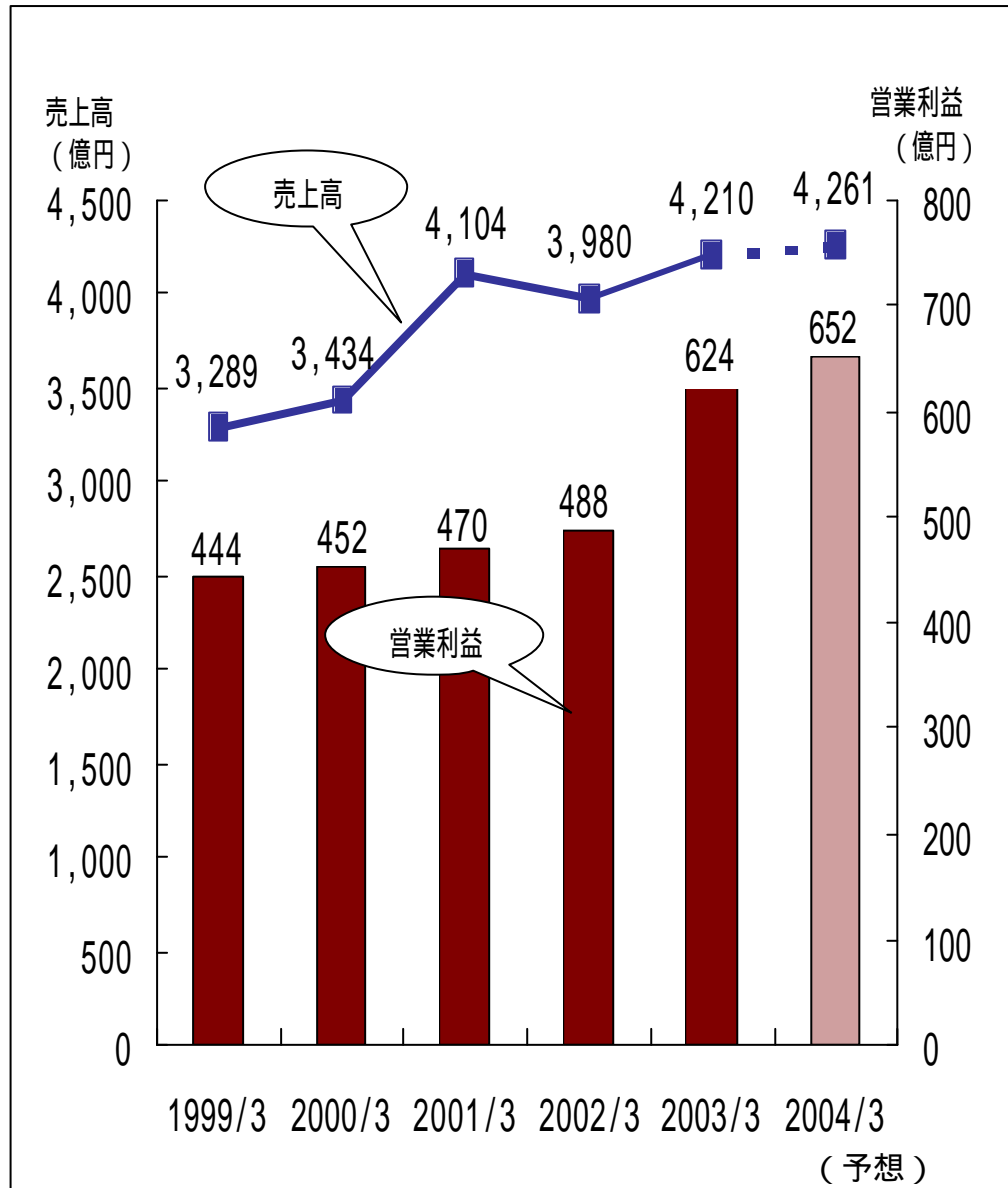
	<u>設備投資額</u>	<u>減価償却費</u>
	億円	億円
有機・無機化学品	376	220
電子材料	351	333
機能材料その他	26	115

2．1-12月平均の為替レートは、海外子会社の損益を連結する際に使用。

## セグメント別売上高・営業利益（連結）

	売上高			営業利益		
	2002年 3月期	2003年 3月期	増減	2002年 3月期	2003年 3月期	増減
有機・無機化学品	3,980	4,210	( 5.8%) 230	488	624	( 27.9%) 136
塩ビ系	1,998	2,246	248	158	205	47
シリコン系	1,199	1,303	104	206	272	66
その他	783	661	122	124	147	23
電子材料	2,265	2,434	( 7.5%) 169	337	352	( 4.7%) 15
半導体シリコン	1,764	1,967	203	264	287	23
その他	500	467	33	73	65	8
機能材料その他	1,507	1,331	( 11.7%) 176	322	243	( 24.7%) 79
合成石英	571	350	221	231	145	86
希土類磁石、 その他機能材料	218	253	35	54	58	4
その他	717	728	11	37	40	3
消 去	-	-	-	0	2	2
合 計	7,751	7,975	( 2.9%) 224	1,147	1,221	( 6.5%) 74

## 有機・無機化学品事業の推移・現況（連結）



### 塩ビ

2002年の北米塩ビ需要は高水準な米国住宅着工等に支えられ、対前年比5.6%増の堅調な成長であった。また、販売価格は2002年1月から7月にわたって上昇し、9月以降に小幅な調整があったが年を通じては高い水準を維持した。

米国の塩ビ拠点シンテック社はこれらの市況動向を的確に捉え、年産能力145万トンのテキサス工場及び59万トンのレイジアナ工場のフル稼働を継続し、過去最高の経常利益と純利益を達成。

オランダのシンエツPVC社も堅調に生産、販売を続け、収益を伸ばした。

### シリコン

国内販売は、自動車関連を始めとして多くの分野で需要が上向き販売は堅調に推移した。一方海外市場に於いても、電機・電子向けが好調だった東南アジアを中心に世界の各地域向け販売が順調に推移した。また、シリコン加工製品も電機・電子向けを中心に好調であった。

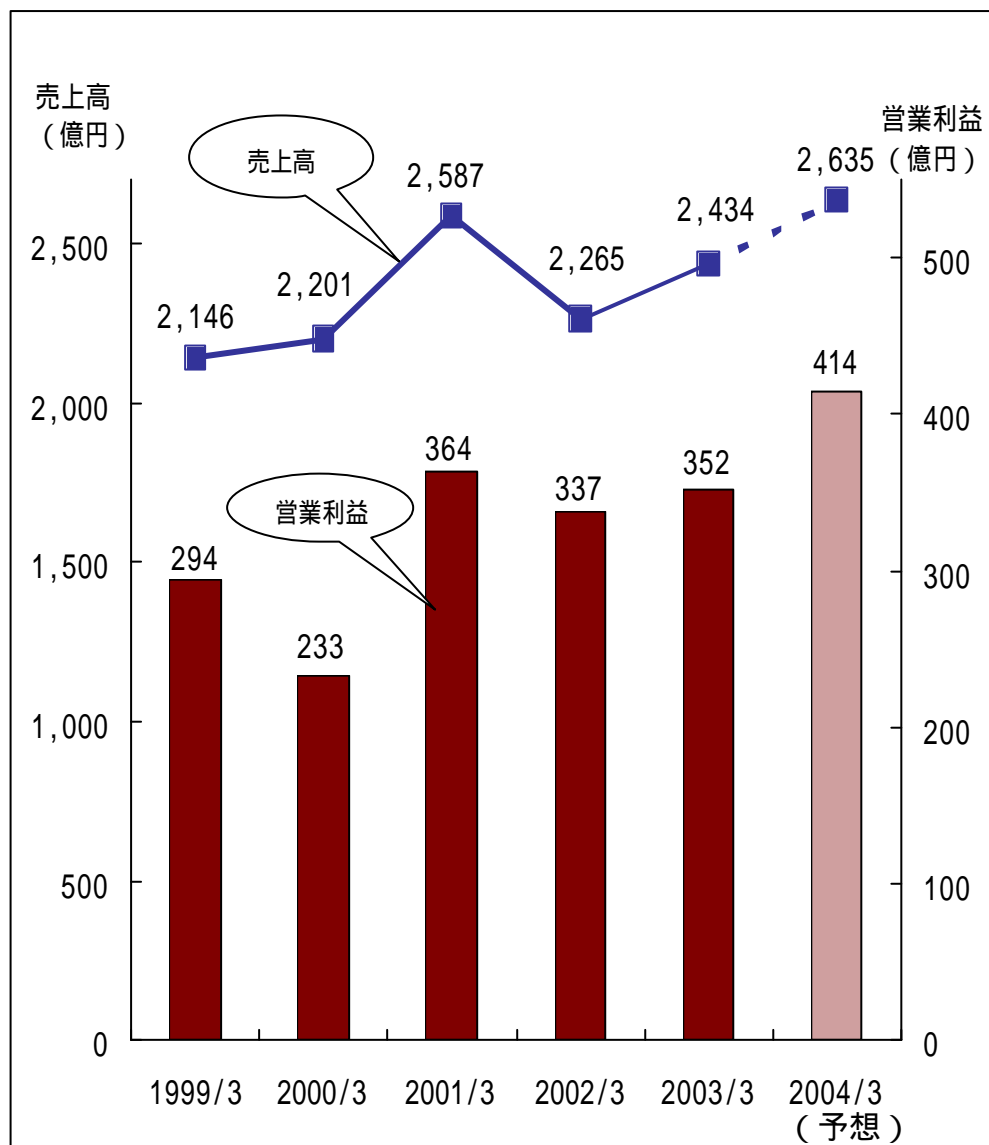
米国に機能性シランの工場、中国にRTVゴム等の工場が完成し、拡販に注力する。更に、タイにGEとの合弁による中間体工場と当社の製品工場を建設中。

セルロース誘導体は医薬品向け、海外工業用途が堅調。

5月に酢酸ビニルモノマー・ポパール事業を持分法適用関連会社に移管、6月に肥料事業を売却。

(注)海外子会社は12月決算のため1～12月期を算入。

## 電子材料事業の推移・現況（連結）



### 半導体シリコン

新製品の300mmウェハは需要の立ち上がりを的確に捉え生産能力を増加させ、2003年1月には生産能力は月産10万枚となり、売上を伸ばした。

更に、総投資額900億円でこの300mmウェハを月産30万枚とする増設計画を策定し、うち、20万枚までの増強は2003年度中に行う予定。

8インチウェハは2001年8月に底を打った後回復に転じ、2002年に入りメモリー・民生用等の半導体デバイスの需要増加に伴い売上を伸ばし、2002年5月と6月は前回のピークである2000年第4四半期と同等の販売数量に達した。7月以降出荷量には小幅な減少があったが高い水準で推移した。

また、SOウェハ、熱処理ウェハ等の特殊ウェハも堅調に推移して収益増に貢献した。

半導体の市況変化は近年、急激且つ短期化の度合いを強めているが、当社は、投資額が大きく高い技術を要する300mmウェハでの先行や、内外拠点の競争力の強化に引き続き取り組む。

### 電子産業用希土類磁石

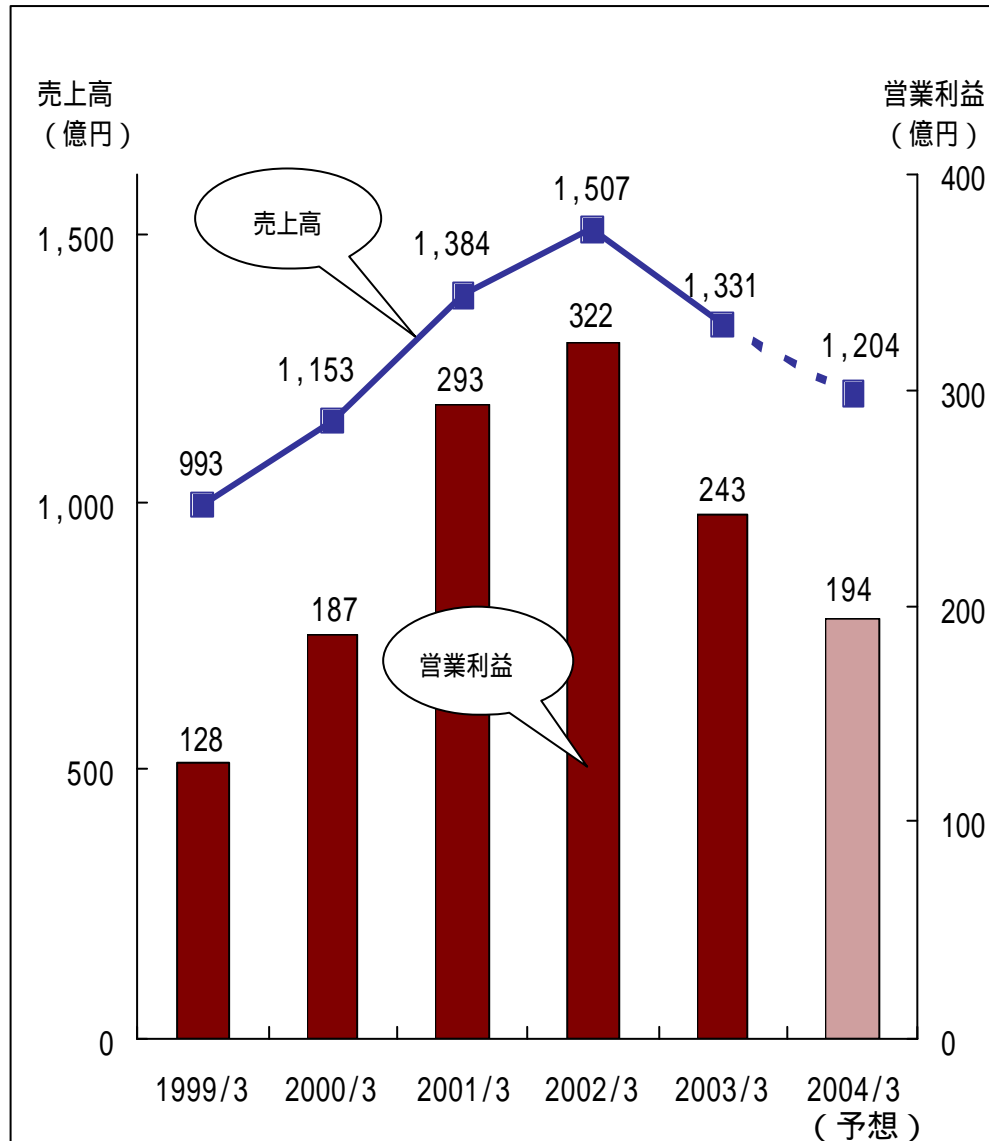
ハードディスク・ドライブの小型化やサーバー用ハードディスクの需要低迷により厳しい状況が続いた。

### 電子産業用有機材料・フォトレジスト

フォトレジスト製品及び電子産業用有機材料は半導体デバイスの需要が回復したことから、販売は増加した。

次世代ArFフォトレジストは本格的な使用開始に備え、需要家との技術開発に注力していく

## 機能材料その他事業の推移・現況（連結）



### 合成石英

光ファイバー用プリフォームは、世界的な通信関連事業の急激且つ大幅な需要減退の環境にあっても、世界の幅広い顧客への販売に注力した。この結果、売上は大きく減少したが利益には着実な貢献をした。

電子分野向け等の合成石英は、半導体製造用等は振るわなかったが、液晶用フォトマスク基板は伸長した。

### 希土類磁石

光ピックアップ向けや自動車向けをはじめ需要が一般的に回復したことに加え、新規拡販も寄与し、売上は増加した。

### レア・アース等

携帯電話用部品の需要が回復したことから、レア・アースの売上は前期を上回ったが、酸化物単結晶は市況の下落により売上は前期を下回った。



# シンテック社の業績概要

## Shintech Incorporated

	2001年12月期		2002年12月期	
	百万US\$	億 円	百万US\$	億 円
売上高	968	1,177	1,194	1,496
経常利益	160	195	179	224
特別利益	-	-	20	25
当期純利益	104	126	131	165
純資産	1,265	1,670	1,397	1,675
総資産	1,443	1,904	1,701	2,040

- 2002年は米国の住宅着工が年を通して高水準に推移し、北米の塩ビ需要は対前年比5.6%と堅調に伸びた。また販売価格は2002年1月から7月にわたり14¢/ポンド上昇。販売価格は9月以降に計3¢/ポンドの小幅な調整があったが年を通しては高い水準で推移した。
- こうした中、シンテック社は既存のテキサス州フリーポート工場（生産能力145万トン/年）に加えて、ルイジアナ州の新工場（生産能力59万トン/年）がフル操業を行い、北米の内需の増加を確実に捉え、販売量を増加させた。
- この結果、経常利益は、過去最高を記録。又、当期純利益も、特別利益（和解金収入）が加わり前年を大幅に上回る過去最高益を達成した。

## 信越半導体グループの業績概要

### 信越半導体グループ〔連結業績〕

(信越半導体・SEHアメリカ・SEHマレーシア・SEHヨーロッパ・SEH台湾)

	2002年 3月期 億円	2003年 3月期 億円
売上高	1,701	1,904
経常利益	174	210
特別利益	-	33
特別損失	22	71
当期純利益	93	116
純資産	1,204	1,206
総資産	3,331	3,182

- 新製品の300mmウェハ―は需要の立ち上がりを的確に捉え生産能力を増加させ、2003年1月には生産能力は10万枚となり、売上を伸ばした。
- 8インチウェハ―は、2002年に入りメモリー・民生用等の半導体デバイスの需要増加に伴い売上を伸ばし、2002年5月と6月は前回のピークである2000年第4四半期と同等の販売数量に達した。7月以降出荷量には小幅な減少があったが高い水準で推移した。
- また、SOIウェハ―、熱処理ウェハ―等の特殊ウェハ―も堅調に推移して収益増に貢献した。
- この結果、売上高、経常利益ともに前期を上回った。
- 特別損失(投資有価証券評価損)を計上したが、当期純利益も増益を達成。

(注) 子会社は12月決算数値を連結

## 比較損益計算書（連結）

（億円）

	2002年 3月期	2003年 3月期	増 減	増減率
<b>売 上 高</b>	7,751	7,975	224	2.9%
売上原価	5,724	5,852	128	
販売費・一般管理費	880	902	22	
<b>営 業 利 益</b>	1,147	1,221	74	6.5%
営業外損益	23	0	23	
<b>経 常 利 益</b>	1,170	1,221	51	4.3%
特別損益	39	16	23	
<b>税金等調整前当期純利益</b>	1,131	1,205	74	6.6%
法人税・住民税・事業税	438	452	14	
少数株主利益	8	23	15	
<b>当 期 純 利 益</b>	685	730	45	6.6%

2003年3月期

特別利益 : 過年度補修工事費用戻入額 33億円、和解金収入 25億円  
           固定資産売却益 24億円、退職給付信託設定益 24億円

特別損失 : 投資有価証券評価損 105億円、過年度リセイル取引精算金 17億円

## 比較貸借対照表 (連結)

(億円)

	2002年 3月末	2003年 3月末	前期末比		2002年 3月末	2003年 3月末	前期末比
<b>流動資産</b>	<u>6,926</u>	<u>7,078</u>	<u>152</u>	<b>流動負債</b>	<u>3,285</u>	<u>2,981</u>	<u>304</u>
現金・預金	2,339	2,356	17	支払手形・買掛金	973	1,106	133
受取手形・売掛金	1,931	1,980	49	社債・借入金	1,136	785	351
有価証券	1,075	1,153	78	未払金・未払費用	867	880	13
たな卸資産	1,196	1,194	2	未払法人税等	139	125	14
繰延税金資産	222	213	9	その他	171	84	87
その他	163	182	19	<b>固定負債</b>	<u>1,240</u>	<u>1,403</u>	<u>163</u>
<b>固定資産</b>	<u>5,959</u>	<u>6,031</u>	<u>72</u>	社債・転換社債	343	401	58
<b>有形固定資産</b>	<u>4,558</u>	<u>4,415</u>	<u>143</u>	長期借入金	296	488	192
建物・構築物	1,664	1,590	74	繰延税金負債	235	247	12
機械装置・運搬具	2,075	1,965	110	退職給付引当金	152	62	90
その他	819	860	41	その他	214	205	9
<b>無形固定資産</b>	<u>35</u>	<u>43</u>	<u>8</u>	<b>負債合計</b>	<u>4,525</u>	<u>4,384</u>	<u>141</u>
<b>投資その他の資産</b>	<u>1,365</u>	<u>1,573</u>	<u>208</u>	<b>少数株主持分</b>	<u>239</u>	<u>255</u>	<u>16</u>
投資有価証券	1,110	1,334	224	資本金	1,103	1,103	0
繰延税金資産	142	131	11	資本剰余金	1,190	1,190	0
その他	113	109	4	利益剰余金	5,565	6,261	696
				<sup>①</sup> 其他有価証券評価差額金	61	15	76
				<sup>②</sup> 為替換算調整勘定	285	26	259
				自己株式	84	96	12
				<b>資本合計</b>	<u>8,121</u>	<u>8,470</u>	<u>349</u>
<b>資産合計</b>	<u>12,884</u>	<u>13,109</u>	<u>225</u>	<b>負債・少数株主・資本合計</b>	<u>12,884</u>	<u>13,109</u>	<u>225</u>

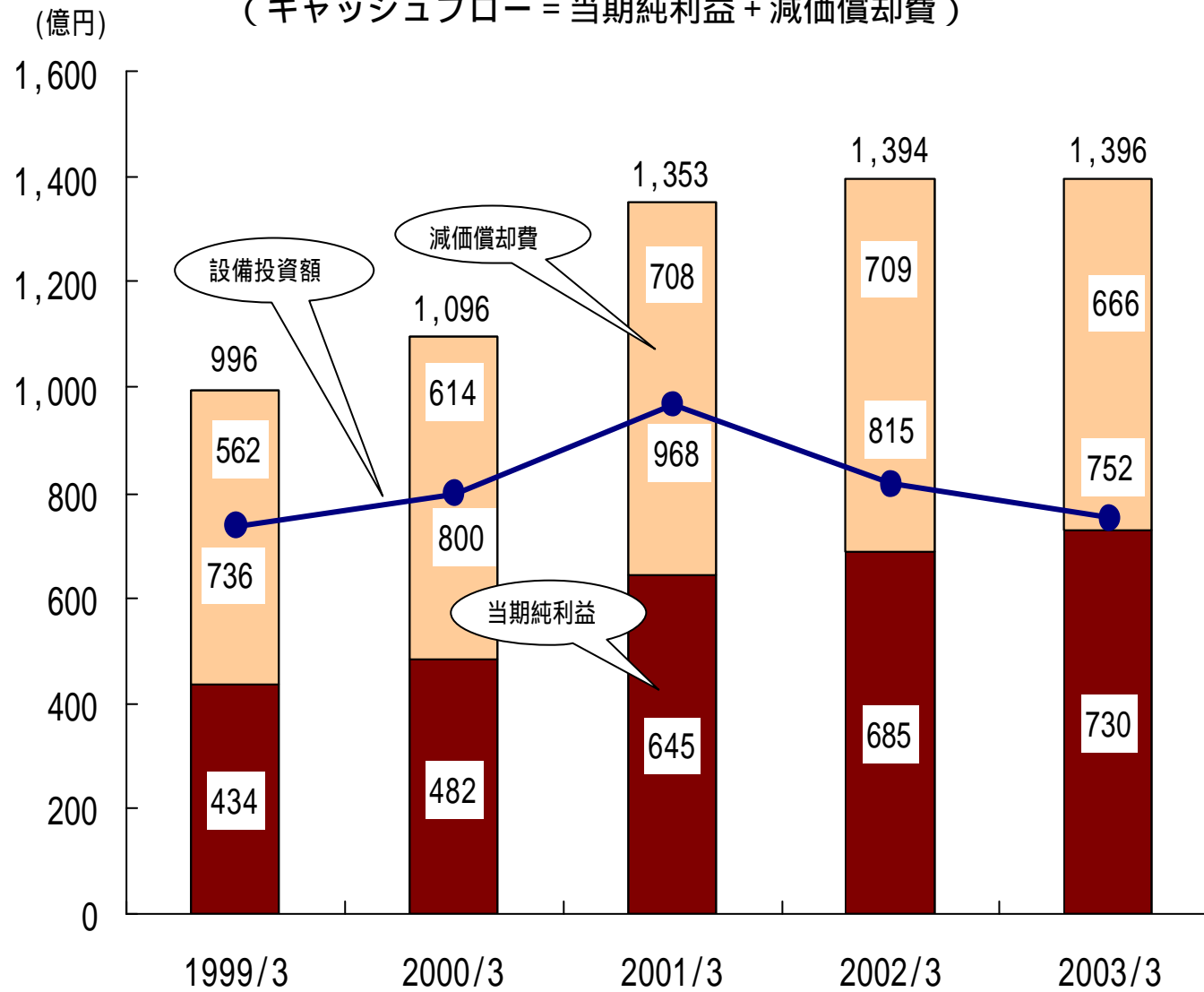
# キャッシュフロー計算書 (連結)

(億円)

	2002年 3月期	2003年 3月期	増 減
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>			
当期純利益	685	730	45
減価償却費	709	666	43
その他	208	94	114
計	1,186	1,302	116
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>			
設備投資支出	830	646	184
金融債ほか有価証券増減額	485	119	604
その他	42	12	54
計	1,274	539	735
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>			
社債・借入金増減額	187	111	76
配当金支払額	50	55	5
その他	13	22	9
計	250	188	62
換算差額ほか	109	50	159
現金・現金同等物増減額	229	525	754
現金・現金同等物残高	2,498	3,024	526
有利子負債残高	1,775	1,674	101

# キャッシュフロー・設備投資額の推移（連結）

（キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費）



## 2004年3月期 業績予想（連結・単独）

	連 結				単 独			
			上 期				上 期	
	億 円	前期比(%)	億 円	前期比(%)	億 円	前期比(%)	億 円	前期比(%)
売 上 高	8,100	1.6	4,050	2.1	4,800	-	2,350	0.9
営 業 利 益	1,260	3.2	630	-	560	9.7	270	16.5
経 常 利 益	1,260	3.2	630	1.5	580	6.5	290	9.4
当 期 純 利 益	750	2.7	375	1.3	345	6.8	175	10.3
1株当たり当期純利益	177.89円	4.76円	89.20円	1.23円	81.84円	5.99円	41.63円	4.73円
1株当たり年間配当金	16.00円	<b>2円増配</b>	8.00円	1円増配				

## 比較損益計算書（単独）

（億円）

	2002年 3月期	2003年 3月期	増 減	増減率
<b>売 上 高</b>	4,653	4,802	149	3.2%
売上原価	3,670	3,858	188	
販売費・一般管理費	337	325	12	
<b>営業利益</b>	646	620	26	4.0%
営業外損益	24	0	24	
<b>経常利益</b>	670	620	50	7.5%
特別損益	0	1	1	
<b>税引前当期利益</b>	670	619	51	7.7%
法人税・住民税・事業税	271	249	22	
<b>当期利益</b>	399	370	29	7.2%

### 2003年3月期

特別利益 : 固定資産売却益 24億円、退職給付信託設定益 24億円

特別損失 : 投資有価証券評価損 32億円、過年度リセに取引精算金 17億円



## 比較貸借対照表（単独）

（億円）

	2002年 3月末	2003年 3月末	前期末比		2002年 3月末	2003年 3月末	前期末比
<b>流動資産</b>	4,095	4,012	—83	<b>流動負債</b>	1,539	1,397	—142
現金・預金	1,506	1,527	21	支払手形・買掛金	761	831	70
受取手形・売掛金	1,505	1,390	115	短期借入金	242	221	21
有価証券	391	394	3	未払金・未払費用	372	282	90
たな卸資産	424	414	10	未払法人税等	97	53	44
その他	269	286	17	その他	67	10	57
				<b>固定負債</b>	<b>278</b>	<b>368</b>	<b>90</b>
<b>固定資産</b>	<b>2,504</b>	<b>2,782</b>	<b>278</b>	転換社債	183	183	0
<b>有形固定資産</b>	<b>1,262</b>	<b>1,145</b>	<b>—117</b>	長期借入金	88	180	92
建物・構築物	404	385	19	退職給付引当金	7	3	4
機械装置・車両運搬具	568	479	89	その他	-	2	2
その他	289	282	7	<b>負債合計</b>	<b>1,817</b>	<b>1,765</b>	<b>52</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>24</b>	<b>18</b>	<b>—6</b>	資本金	1,103	1,103	0
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,218</b>	<b>1,618</b>	<b>400</b>	資本剰余金	1,116	1,116	0
投資有価証券	555	995	440	利益剰余金	2,611	2,923	312
その他	663	623	40	株式等評価差額金	36	17	53
				自己株式	84	96	12
				<b>資本合計</b>	<b>4,782</b>	<b>5,029</b>	<b>247</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,599</b>	<b>6,794</b>	<b>195</b>	<b>負債・資本合計</b>	<b>6,599</b>	<b>6,794</b>	<b>195</b>

## 部門別売上高比較（単独）

（億円）

部 門	2 0 0 2年 3月期	2 0 0 3年 3月期	増 減
有機・無機 化学品部門	1,766	1,747	19
電子材料部門	1,684	1,956	272
機能材料部門	830	658	172
国際事業部門	373	441	68
合 計	4,653	4,802	149
〔参考〕輸出合計	( 43% ) 1,991	( 46% ) 2,202	211

( )内は輸出比率を示す。

## 過去1年の信越グループの主な展開

- 2002年5月 ユニチカ(株)と共同で行ってきた酢ビ・ポパール事業を再編し、日本酢ビ・ポパール(株)を発足。
- 2002年5月 シリコン事業で旭電化工業(株)と、チョコレート等の精密な完全立体造形物を成型するシステム「SMS (Silicone mold Modeling System)」を共同で確立。
- 2002年6月 肥料事業をコープケミカル(株)へ営業譲渡。
- 2002年6月 中国にシリコン製品の製造販売を行う合弁会社「浙江信越精細化工有限公司」の設立を発表。
- 2002年6月 信越ポリマー(株)が、次世代品質対応の300mmウェハー輸送容器「MW300G」を開発、ウェハーメーカー、デバイスメーカー、半導体装置メーカーなどへ販売を開始。
- 2002年8月 信越半導体(株)が、子会社のSEHマレーシア社で8インチウェハーの生産能力を増強。
- 2002年8月 当社の南陽工場(山口県)を閉鎖。
- 2002年9月 日信化学工業(株)が、雑誌製本等に使用される環境対応型ホットメルト接着剤「日信ホットメルト BRシリーズ」を開発、本格的な販売を開始。
- 2002年12月 信越グループ8社が、世界最大規模の半導体製造装置・材料の国際展示会「セミコン・ジャパン 2002」に出展。
- 2002年12月 「東洋経済賞 2002年度カンパニー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。
- 2003年1月 代表取締役社長 金川千尋が、(株)財界研究所より「経営者賞」を受賞。
- 2003年1月 最先端バイオ技術の事業化を促進する米国のベンチャー投資・共同開発組織「コスモス・アライアンス・クラブ」への参加を決定。
- 2003年2月 シンエツ・シリコンズ・オブ・アメリカ社のフリーポート工場(米国テキサス州)で、機能性シランの商業生産を開始。
- 2003年3月 信越半導体(株)が、300mmシリコンウェハーの生産能力月産30万枚への増強計画を発表。